

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第80回）に係る面談
2. 日時：令和2年4月13日（月） 10時00分～12時20分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 金子審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、久川係員

福島第一原子力規制事務所

小林所長、木村検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 5名

福島第一原子力発電所 11名

#### 5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第80回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 3号機燃料取り出しの状況について
- 構内設備等の長期保守管理計画の策定について
- 1/2号機排気筒解体工事の進捗状況について
- 事故故障報告2件に係る本年2月の検討会における質問への回答について
  - ✓ 6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁駆動部シャフト折損事象
  - ✓ 1/2号機排気筒ドレンサンピットの水位低下事象
- 1/2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施状況について
- 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表について

○原子力規制庁より、以下のとおりコメント、確認を行った。

- 3号機燃料取り出しの状況については、新型コロナウイルスの対策として、取り出し作業の体制についての説明を追加すること。
- 長期保守管理計画の策定については、建物・構築物への対応の優先度の判断に劣化度合いを考慮している一方で、施設・設備については劣化による保守の要否を検討することを明確にしていなかったため、施設・設備等についても劣化による保守の要否を検討することを明確にすること。また、次回の検討会では、長期保守管理計画の策定の全体像が明らかにな

っているわけではないので、前回検討会のコメントへの対応を主に説明すること。

- 1／2号機排気筒解体工事の進捗状況について、解体部材の線量率測定は、当庁の事故分析のスケジュールとも調整しながら進めてもらいたい。
- 事故故障報告については、6号機RHRポンプ吸込弁駆動部破損事象について、先の実施計画の変更（5／6号機の現状を踏まえた要求される機能の見直しに関する変更）を踏まえて、同様の事象が今後発生した際の判断プロセスを整理して説明に追加すること。
- SGT S配管撤去に向けた現場調査については、排気筒底部にて見つかった堆積物について、写真と共に分かっている範囲で堆積している状況の情報を追加すること。
- 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指摘事項に対する工程表については、リスクマップ改訂等を踏まえて、追加した内容を明確にして説明すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて準備を行う旨の回答があった。

## 6. 資料

- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定について（案）
- 福島第一原子力発電所 1／2号機排気筒解体工事進捗状況（案）
- 事故故障報告2件 2／17監視評価検討会における質問回答（案）
- 1／2号機SGT S配管撤去に向けた現場調査の実施状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）